

日本臨床検査専門医会

平成 20 年度第三回常任・第二回全国幹事会 議事録

平成 20 年 5 月 31 日

平成 20 年度 第三回常任・第二回全国幹事会議事録

開催日時：平成 20 年 5 月 31 日(土)、12 時～12 時 50 分

場 所：神戸臨床研究情報センター (TRI)

参加幹事：渡辺清明、熊谷俊一、渡邊 卓、佐守友博、土屋達行、村田 満、
市原清志、木村 聡、小出典男、前川真人、松野一彦、宮澤幸久、
山田俊幸、佐藤尚武

参加監事：高木 康、水口國雄

出席 16 名

欠席：宮地勇人、矢富 裕、大谷慎一、熊坂一成、今福裕司、康 東天、犀川哲典、
三家登喜夫、館田一博、橋本琢磨、深津俊明、藤田直久、満田年宏、保嶋 実、

欠席 14 名

(敬称略)

議事に先立ち渡辺清明会長から挨拶があった。

議事録署名人に、市原清志幹事、山田俊幸幹事を指名して議事に入った。

報告事項

(1) 各種委員会について

情報・出版委員会(佐藤庶務会計幹事：矢富委員長欠席のため)

前回の幹事会后に委員会を開催した。担当者が交替したこともあり、出版物の発行は全体的に遅れている。LabCP は 26 巻の 1 号まで現在の形で発行し、2 号からは新たな形式で編集する。毎回テーマを決め、特集号のような形で発行する。近日中に配信予定の JACLaP WIRE に新形式の Lab CP (2 号) の原稿募集が掲載されるので、お読み頂き、是非多数の投稿を頂きたい。

- 第 1 回目は「よりよい検査室管理をめざして」というテーマで原稿を募集する。自薦・他薦を問わないので、多数の投稿をお願いしたい。(木村幹事、情報・出版委員会委員)

教育研修委員会(資料 1)(佐藤庶務会計幹事：宮地委員長欠席のため)

セミナー実施状況報告

本年度の教育セミナーおよび G L M セミナーは全て終了した。受講状況は資料 1 の通りである。大きなトラブルはなく終了することができたが、セミナーを担当された施設のご尽力に感謝したい。

資格審査・会則改定委員会(土屋委員長)

会則の改定と名誉会員、有功会員の推薦を行ったが、本件については審議事項でご審議をお願いする。

渉外委員会(佐守委員長)

本年は振興会セミナーを中止し、代わりに日本臨床検査専門医会設立 25 周年記念行事を行うことを振興会の幹事にご了解頂いた。記念行事の内容については次の議題で報告する。

臨床検査専門医在り方委員会（村田委員長）

前回の幹事会后に委員会を 2 回開催した。様々な意見が出たが、まだ結論には至っていない。秋の日本臨床検査医学会学術集会時の幹事会までに意見を集約し、委員会としての提言を行う予定である。

保険点数委員会（資料 2）（渡辺会長）

4 月 22 日に日本臨床検査医学会 臨床検査点数委員会との合同委員会を開催した。試料 2 はその議事録である。委員の紹介を行い、医療ニーズの高い医療機器等に関する要望調査、平成 20 年度診療報酬改定の臨床検査に関する主なポイント、内保連に提出する「平成 20 年度診療報酬改定の実績と評価」の記載内容、今後の検討課題について討議した。

内保連に対しては次回改定に際して、生理検査、形態学的検査の点数引き上げを要望することになった。今後の検討課題として生理検査の適正な診療報酬、POCT 項目の評価を取り上げることになった。

(2) 日本臨床検査専門医会設立 25 周年記念行事について（資料 3）（佐守幹事）

7 月 18 日に開催予定の当会設立 25 周年記念行事の概要を試料 3 に示す。なお厚生労働省の演者は中谷課長補佐から待鳥課長補佐に変更になった。開始時間も 14 時ではなく 13 時 30 分からになる予定である。

現在鋭意準備を進めている。一人でも多くの会員の参加をお願いしたい。

(3) 第 20 回春季大会について（佐藤庶務会計幹事）

第 20 回春季大会については前回の幹事会で九州地区での開催が決定しており、康幹事に大会長の推薦をお願いした。その後康幹事から、産業医科大学の太田俊行教授を推薦する旨連絡があり、太田先生に大会長をお願いすることになった。

(4) その他

特になし

審議事項

(1) 会則改定について（資料 4）（土屋幹事）

会則を資料 4 の通り改定した。具体的には準会員と振興会員を廃止し、賛助会員を新設した。また振興会員の廃止に伴い、第 26 条の振興会規定を削除した。更に付則 3 の B 会員の規定に関する文章を一部削除した。振興会および振興会員の廃止と賛助会員の新設は、臨床検査薬協会のプロモーション委員会からの提案を受け、前回の幹事会で審議した内容に基づく措置である。本件についてご審議願いたい。

- 準会員を廃止する理由は何か。（佐守幹事）

- 実際にはないためである。(土屋幹事)
- 準会員を廃止するにしても、大学院生の会員に対する会費の減額措置はあった方が良い。学生会員を新設してはどうか。(松野幹事、木村幹事)
- 実はこの会則改定案が提示された後に、臨薬協のプロモーション委員会からこの改定案に対し意見が提出された。本日新たな提案もあったので、会則の改定について再度検討してはどうか。(佐藤幹事)
- では再検討して下さい。(渡辺会長)
- 了解した。(土屋幹事)

(2) 平成 20 年度補正予算について(資料 5)(佐藤庶務会計幹事)

平成 20 年度予算案は第 1 回幹事会で承認されているが、その後本年度の事業内容の変更に伴い、予算案を一部修正し、資料 5 の通り補正予算案を組んだ。具体的には JACLaP NEWS No.100 記念号を発行するため、座談会等の企画を実施することになり、印刷代を 20 万円増額した。また設立 25 周年記念行事は従来の振興会セミナーを拡大し、予算を 100 万円増額して行う予定であったが、渉外委員会報告の通り本年度は振興会セミナーの開催を中止し、設立 25 周年記念行事は独立して開催することになった。そのため振興会補助金を 0 円に変更し、新たに設立 25 周年記念行事費用として 170 万円を計上した。本件についてご審議願いたい。

- 本件は承認された。

(3) 名誉会員、有功会員の推薦について(資料 6)(土屋幹事)

資料 6 にあるように、名誉会員として黒川一郎先生、菅野剛史先生、有効会員として富田明夫先生、宮井潔先生、伊藤忠一先生を推薦したい。いずれの先生も規定を満たしている。ご審議願いたい。

- 本件は承認された。

(4) 全国幹事の辞任について(渡辺会長)

伊藤喜久先生から全国幹事の辞任願いが提出されている件については、前回の幹事会で討議され、日本臨床検査医学会等の対応を見定め対応することになった。当会としては日本臨床検査医学会の対応に準じ、辞任を認めることにしたい。なお後任はおかず、当面欠員としたい。本件についてご審議願いたい。

- 本件は承認された。

(5) 第 32 回日本臨床検査専門医会総会における講演会について(佐藤幹事)

第 32 回総会時の講演会演者を次の幹事会までに決定したい。この会では少なくとも講演会の座長を決める必要がある。

- 当会の総会は日本臨床検査医学会の学術集会に合わせ、今年は名古屋で開催される。東海地区の全国幹事である前川先生に座長と講演者の選定をお願いしたい。(渡辺会長)
- 日本臨床化学会の開催を控えており大変だが、会長の指名なので、他の幹事の異議がなければお引き受けする。(前川幹事)

- 本件は承認された。
- (6) 教育セミナー・GLMセミナー欠席者の参加費取扱いについて(佐藤幹事)
- 現在セミナー参加費は事前払い込み制になっており、当日欠席者に対しては翌年の受講を無料としている。しかし各セミナーとも赤字で実施されており、欠席者分についても事前の準備等でかなりの費用を使っている。このため欠席者に対する翌年の無料受講資格制度を来年度から廃止したい旨、宮地教育研修委員長から提案があった。ご審議願いたい。
- 本件は承認された。
- (7) その他
- 特になし。

議事録署名人

平成 20 年 8 月 25 日

市原 清志 印

平成 20 年 9 月 9 日

山田 俊幸 印